

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
		全体計画				経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4315 文化財保存活用事業										
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費									
	事業	020000 文化財保存活用事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。</p>						<p>「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。また、福井敬一絵画修復、旧小田切家住宅の書画等の記録保存、仏像調査報告書の刊行により、文化財の保存と活用を図る。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ウェブサイト「信州須坂のおたから」の拡充などを通じての各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図っている。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。	各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図る。

指標名	デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」による文化財などの公開				
算式	累計公開件数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	850	900	950	1,000
	実績	830	834		
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用				
最終年度目標の根拠	継続的取り組みの中での目標の目安				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		11,626	9,513
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	188	62
一般財源		11,438	9,451
人員数(人)	正規職員	0.7	0.6
	嘱託職員	1.0	1.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,004.3	4,289.4
	嘱託職員	2,766.0	4,149.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,770.3	8,438.4
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		19,396.3	17,951.4

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	498	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼453、各種講座等での講師謝礼559
11節 需用費	1,572	文化財各種修繕559、旧越家住宅光熱水費409、消耗品188、燃料費38、食糧費5、国立学校パンフ等印刷373
13節 委託費	2,510	文化財維持管理に係る委託850、文化財保存活用倉庫に係る警備委託402、樹木保護に係る委託818、除草等シルバー委託440
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,153	堀直虎没後150年事業負担金3,000、鎧塚まつり負担金450、文化財保存活用補助金703
その他	2,893	報酬2,154 ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	545	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼510、各種講座等での講師謝礼35
11節 需用費	1,833	文化財各種修繕等704、旧越家住宅光熱水費900、消耗品184、燃料費33、食糧費33
13節 委託費	2,631	文化財維持管理に係る委託872、文化財保存活用倉庫に係る警備委託441、市指定天然記念物の養生に係る委託302 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,450	文化財保存活用補助金1,000、八丁鎧塚まつり共催負担金450
その他	3,054	嘱託職員報酬2,220、報償費555 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	国民並びに市民共有の財産である文化財の保存は、市行政の責務である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	旧越家住宅の駐車場車止めの改修など、市民要望に応じている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国又は県指定の文化財については、別途補助金を活用して整備を進める	

振り返り（決算年度の取組み課題）
文化財の適切な維持管理に努めた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

「信州須坂のおたから」の充実など文化財の保存・活用を図り、文化財に対する市民の理解を更に深める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

文化財の保存と活用のバランスをとりながら、歴史・文化を大切にしまちづくりを進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--